

2014 年 1 月 20 日  
株式会社リンクアンドモチベーション

運動神経のよい組織をつくり、継続的に成果を創出していくために

## 職場力診断「LINK サーベイ」提供開始

同時にフィードバック研修も提供

経営コンサルティングの株式会社リンクアンドモチベーション（東京都中央区 代表取締役 小笹芳央 東証一部）は、2014 年 2 月 1 日より職場力診断サービス「LINK サーベイ」（リンクサーベイ）を提供開始します。

このサーベイは、職場力を把握することを目的とした調査です。当社では社会システム理論（※）、多数のコンサルティング実績を背景に、どんな観点・メガネで職場を捉えればよいかを 4 つの観点で整理しました。それに基づき、調査対象の職場のメンバーにアンケートを実施し、どんな要素が職場力を阻害し、どんな要素が職場力に寄与しているかを把握します。※AGIL 理論（タルコット・パーソンズ 1969 年）

また、同時に、診断結果を活用して職場力を強化するための研修「Magellan Link Survey Feedback（マゼラン リンクサーベイフィードバック）」も提供します。

「組織の実行力強化」を掲げつつも、その施策については、つい個人のスキルアップやモチベーション向上、マネジャーのマネジメント力強化など「個人」にフォーカスしてしまいがちです。「LINK サーベイ」では、顧客や関連部署との情報交換、役割分担やコミュニケーション、変化に向けた取り組み、技術や理念の継承など、職場を要素の関連しあつた「システム」と見立てることで、「職場全体」の最適化を目指すことが可能となりました。

当社では、「LINK サーベイ」で 2014 年に 30 百万円の売上げを目指します。

### 背景

アベノミクスや東京オリンピックの開催決定により国内の景況感が上向いてくる中、国内の大手企業では、ここ数年続いていた「守りの経営姿勢」から「攻めの経営姿勢」に転じているところが多くなってきているようです。

業界や個社ごとに状況は異なりますが、当社でも事業戦略と紐づけた採用戦略の策定支援や、人材開発施策の見直し、人事制度の改訂など、「未来に向けた前向きな施策」のご相談をいただくことが増えてきました。

こうした場合、単純な人員の増加や表層的なスキルアップやモチベーション向上施策のみに捉われず、目標達成・組織成果に繋がる施策を実行していく必要があります。我々リンクアンドモチベーションでは、組織成果に繋がる重要なアプローチが「職場力の向上」であり、そのためには「職場開発」の視点を持つことが不可欠だと考え、診断サービスと研修を開発することにいたしました。

## リンクサーベイの概要

### ■職場力を診るための LINK の観点

どんな観点・メガネで職場を捉えればよいか？職場の果たすべき「機能」とは何なのか？を、社会システム理論(※)、多数のコンサルティング実績を背景に「LINK」の観点で整理しました。  
会社としての仕組み整備や個人の能力開発だけではなく、職場というシステムの変化対応力、すなわち「組織の運動神経」を高めることが、これからの企業に必要なことだという考えがベースとなっています。

機能を「空間軸」で整理			機能を「時間軸」で整理		
<b>Linkage</b> 適応機能	A.能動適応	顧客（関連部署）への情報提供ができています	<b>Nextage</b> 変革機能	E.察知活動	潜在的なチャンスやリスクを察知する活動ができています
	B.受動適応	顧客（関連部署）からの情報収集ができています		F.先行活動	時代・市場に先行して挑戦的な活動ができています
<b>Integration</b> 統合機能	C.業務統合	職場内で適切な役割分担と連携ができています	<b>Keep up</b> 継承機能	G.技術継承	事例やノウハウ共有を通じて技術を継承ができています
	D.意識統合	自立した個が共通の目的のもと意識を統合して業務推進ができています		H.理念継承	組織として大切にしたい考え方や指針を継承ができています

### ■設問イメージ

あなたは、あなたの職場（部署）に対して、どのようなことを求めますか？

- ・職場メンバーが、顧客（又は関連部署）の要望に対し、迅速に対応すること
- ・職場において、各メンバーに明確な役割が設定されること
- ・職場において、新たな挑戦を積極的に奨励する雰囲気があること
- ・職場において、業務のナレッジやノウハウが汎用化・標準化されること など。

①全く求めない②あまり求めない③まあまあ求める④とても求める⑤非常に強く求める（5段階評価）

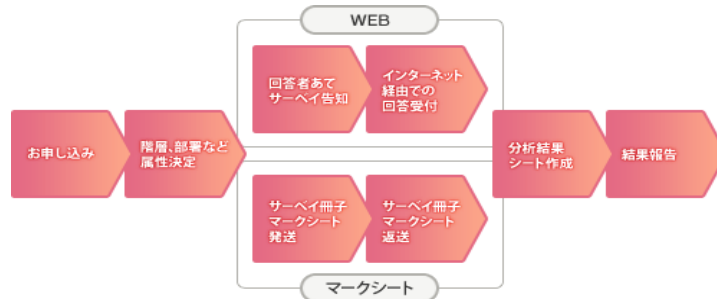
### ■結果について

現在の職場の運動神経状態を「重要度」「達成度」の2軸で調査します。独自に開発した 4eyes Windows®から強み、弱みを把握し、課題の優先順位を明確にすることができます。回答結果は帳票にアウトプットされるため、職場力の状態がひと目で把握でき、各種人事施策に活用しやすい内容になっています。



## ■実施の流れ

お申し込みから結果報告までは下図のようなステップで行います。



## ■商品概要

サービス名:「LINK サーベイ(職場版)」

対象:企業等の組織

問題数・所要時間:40 問×2 軸 15 分程度

提供開始日:2 月 1 日

## 「Magellan Link Survey Feedback」(マゼラン リンクサーベイフィードバック)研修について

「LINK サーベイ」を活用して職場力強化を行うための研修を提供いたします。

### ■内容のポイント

#### (1) システム的な捉え方

職場開発で有効となる問題の捉え方を理解し、参加者が自職場の課題を適切に分析できる状態を導きます。

#### (2) 職場を見る観点

特徴の異なる職場を描いたケーススタディを用いて職場を見る新たな観点を理解します。

#### (3) 分析の訓練

受講者が職場の課題を分析する際、新たな観点を使いこなせる状態を作り出します。

#### (4) 自職場の目指す姿と開発課題の策定

各グループに 1 名、一定以上の組織・人事領域の知見を有した弊社コンサルタントがファシリテーターならびにアドバイザーとして入ることで深い議論を実現します。

## ■商品概要

サービス名:「Magellan Link Survey Feedback」(マゼラン リンクサーベイフィードバック)

所要時間: 1 日(9 時間 昼食・休憩時間含む)

## お問い合わせ先

### ■本サービスについてのお問い合わせ先

株式会社リンクアンドモチベーション グループデザイン本部 商品統括ユニット 黒澤 俊平

TEL:03-3538-8671(大代) FAX:03-3538-8672 Email:gd-s-business@lmi.ne.jp

### ■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社リンクアンドモチベーション グループデザイン本部 広報秘書ユニット 白鳥 美智子

TEL:03-3538-9517 FAX:03-3538-8672 Email:pr@lmi.ne.jp

株式会社リンクアンドモチベーション <http://www.lmi.ne.jp/>

■代表取締役会長:小笹芳央 ■資本金:979,750,000 円 ■証券コード:2170(東証一部)

■本社:東京都中央区銀座 3-7-3 銀座オーミビル ■Tel:03-3538-8671(代表) ■創業:2000 年 4 月

■事業内容:モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング

モチベーションマネジメント事業(組織戦略・ブランド戦略)、エントリーマネジメント事業(採用戦略)、

■グループ会社:株式会社リンクグローバルソリューション、株式会社リンクイベントプロデュース、

株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ、株式会社リンク・マーケティング、株式会社リンク・アイ、

株式会社リンクアカデミー、株式会社モチベーションアカデミア、株式会社リンクスポーツエンターテインメント、株式会社リンクダイニング